

令和6年6月5日開会

令和6年第2回木曾岬町議会定例会

行政報告

町長

皆様、おはようございます。

本日、令和6年第2回木曾岬町議会定例会を招集しましたところ、議員の皆様には、早朝からご参集賜りまして、誠にありがとうございます。

今期定例会に上程いただきます議案は、各会計の補正予算案、条例の改正案など、いずれも重要な案件でございます。

何卒、十分なご審議を、お願いいたします。

それでは早速ですが、議長の許可をいただきましたので行政報告をいたします。

初めに、「木曾岬干拓地の状況について」でございますが、去る5月14日、第12回目となる「木曾岬干拓地土地利用検討協議会」が開催され「伊勢湾岸自動車道以南の都市的土地利用計画について」の協議が行われました。

まず、令和5年度に三重県が行った「可能性のある土地利用の用途に関する具体的な調査」の結果報告があり、将来にわたって土地需要や企業進出、立地を見込むことが出来るのは、「物流」、「製造」、「再生可能エネルギー」を始めとする産業系や、「観光」、「レクリエーション」などの交流系の分野であることが判明したとのことでした。

続いて、今後の「都市的土地利用の方向性について」、令和6年度では、引き続き土地需要の動向等を調査しながら、令和8年度での都市的土地利用計画の策定を目指していくこと。併せて、農業体験広場を地域のために有効的に活用できるよう、民間に貸し出すことも含めた暫定利用の着手を目指していくこと。という2点の報告を受けるとともに、愛知県側へのアクセス道路の進捗状況についての報告も受けました。

出席した委員からは、木曾岬干拓地が持っている高いポテンシャルを十分に引き出せるよう、土地利用計画の構築をしっかりと考えていくこと。という意見がありましたし、私からは、干拓地内で立地する企業が増えてきているので、今後増加が見込まれる交通量の分散が図られるよう、関係機関との連携を密にしながら、スピード感を持って道路整備を進めていくよう意見させていただきましたので、ご報告させていただきます。

次に、「連携協定について」でございます。

3月7日に「RIZAPグループ株式会社」様と町民の健康増進および介護予防等の推進を図ることを目的とした包括連携協定を、また、4月5日には「ブックオフコーポレーション株式会社」様と活力ある地域社会の形成と町民サービスの向上に寄与することを目的とした地域連携協定を、それぞれ締結させていただきました。

「RIZAPグループ株式会社」様には、輪心の里の空きスペースを活用したコンビニジムを開設していただく予定となっており、現在、6月下旬のオープンに向けて改修工事

が進められています。今後は、コンビニジムの活用や、「子ども・健康課」との連携により行われる町民の健康増進に向けた各種取組に期待をしたいと考えているところでございます。

一方、「ブックオフコーポレーション株式会社」様におかれましては、4月23日に、図書館内で「ふるさとブックオフ」をオープンしていただき、新規来館者の増加に繋がっていただくと共に、広く町内外の方々にご利用いただくことができました。引き続き、町民のニーズに沿った運用となるよう期待したいですし、今後開催が予定されている「わいわい市場」にも積極的に参加をして地域を盛り上げていただけることにもなっておりますので、そちらにも期待をしていきたいと考えているところでございます。

最後に、本年1月1日に発生した「能登半島地震における本町の職員派遣の状況について」でございます。

本年2月からこれまで、当町からは、避難所運営業務で3名、公費解体における事務で2名、被害認定調査業務で1名、そして保健師活動で1名の計7名と社会福祉協議会から1

名の職員を派遣して参りましたが、去る5月22日、発災当初からこれまで、三重県が石川県輪島市に対して行っていた各種支援や、被害認定調査などに係る職員派遣を、5月末日をもって終了する旨の記者発表が行われたことから、当町としても、職員派遣を終了することとさせていただきます。

なお、本日、石川県輪島市の坂口茂市長が三重県庁へ挨拶におみえになると聞いております。被災地の一日も早い復旧・復興を願う次第であります。

今回の支援活動で得られた気づき・教訓を踏まえ、今後発生が予測されている大規模災害への対策に反映させていきたいと考えているところでございます。

以上のことを申し上げます、行政報告と致します。